

◇仏教婦人会連盟東日本大震災支援活動

今年も新米の収穫時期を迎え、教区仏教婦人会連盟が単位会から募集した富山県産コシヒカリを宮城県名取市の箱塚桜仮設住宅・愛島東部仮設住宅にお届けした。

この支援活動は、津波により壊滅的な被害を受けた名取市閑上地区にお住まいだった方が避難生活を送る愛島東部仮設住宅、箱塚桜仮設住宅を対象に、教区仏教婦独自の活動として行われているもので今年で五回目。本来であれば十月二十三日・二十四日の両日において執行部が両仮設を訪問し、事前に集会所にお届けしたお米を一軒一軒訪問して配布する予定であったが、大型台風の影響で今回は延期となり、仮設自治会にお米の破風をお願いすることとなった。

本来ならば箱塚桜仮設は、今年で愛島東部仮設と統合となる予定であったが、東京オリンピックの施設建設に大量の資材と人員が投入されている影響で復興住宅の建設が遅れたこともあり、現在も三十一世帯が住まいである。両仮設ともに人数は減少しているものの、未だに多くの方が仮設暮らしを余儀なくされている。

その実状の把握のため、執行部が十一月二十九日・三十日に改めて両仮設を訪問し、交流会及び現状の聞

き取りを行う予定である。

▽台風二十一号の被害について

宗派からの依頼により、十月下旬に発生した台風二十一号による寺院の被害状況について組長を通じて状況把握をいたしております。

十月末の時点で第一報を宗派に報告をいたしました。高岡教区内では、六組七寺院より被害の報告を受けております。

被害があり報告をされていないご寺院さまにおかれましては、宗派へ被害報告を行いますので組長を通じて、教務所までご報告いただきますようお願い申し上げます。

また、宗派では、火災、風害、水害及び雪害、地震、噴火、津波等における被害への見舞金制度「災害見舞金給付基準条例」により見舞金交付の申請ができます。

申請については、寺院災害報告書(所定用紙)、罹災証明書(消防署署長または市町村長発行のもの)、被災物件見取り図(手書きでも可能)、被災物件写真(全体及び部分5〜6枚)等が必要となります。

詳細につきましては、教務所までお問い合わせください。

高岡会館報恩講お初夜「親鸞聖人を語る夕べ」

期 日 11月27日(月)午後7時～9時

※午後6時より「うどん」のお齋があります

内 容 第1部 音楽法要(宗祖讃仰作法)

第2部 ご講演

テーマ『報恩感謝』に学ぶ

ご講師 鷺森昭見氏(高岡龍谷高校教諭・氷見西組浄善寺住職)
(詳しくは同封のチラシをご覧ください。)

西本願寺高岡会館 報恩講法要のご案内

○下記の通り高岡会館の報恩講を勤めます。お誘いあわせてお参りください。

日 時：11月28日(火) 日中—午前10時・逮夜—午後1時半

布 教：磯原孝雄 師(五位組光明寺前住職)

講 題：『私を明らかにする教え』

※お昼にお齋(お弁当)を準備しております。午前・午後あわせてお参りください。

▽2017年度 高岡教区『ほとけのこどものつどい』のご案内▽

本年度の「ほとけのこどものつどい」を次の通り計画しています。少年連盟加盟未加盟にかかわらずどなたでもご参加いただけます。詳細は12月の教区報で。

期 日：2017年12月23日(土曜日)午前10時30分～午後3時頃

会 場：西本願寺高岡会館 礼拝堂ほか

もちもの：聖典(お経の本)・お念珠・参加費(100円)

日 程：午前10:00 集合・受付

10:30 仏参・あいさつ・おはなし

11:00 ゲーム・もちつき

12:00 お昼ごはん(おもち)

12:50 ストローを使ったクラフト作り(何が出来るかお楽しみにっ!)

14:50 おわりのあいさつ・解散

御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「今どきの若者」とみ教え―高岡教区布教団の試み―

寺院や門信徒宅での報恩講シーズン真っ盛りです。西本願寺高岡会館でも、ご案内のように、来る二十七日・二十八日の両日に渡って報恩講が営まれますが、お初夜では『親鸞聖人を語る夕べ』として、高岡龍谷高校教諭の鷺森昭見さん（氷見西組浄善寺住職）が講演されます。実は、鷺森先生にお話を頂くのは昨年到现在二回目なのですが、これには経緯があります。

高岡教区布教団では自己研鑽の場として布教大会を開催していますが、昨年より別に四十五才未満の布教団員を対象とした青年布教使大会を行うこととなり、高岡龍谷高校の協力を頂き、高校独自の宗教行事「成道会」と「報恩講」に充てさせて頂いています。昨年、始めて青年布教団員がスタッフとなつての実行委員会を開催し、どの様に大会を実施するかの打合せを行いました。実は一番、難航したのが「誰が布教するか？」の人選でした。スタッフには「六百人近い高校生を前にどんな話をするのか？」という事が大きなプレッシャーとして掛かって来ました。流石に「いつも通りのお説教」という訳には受け止められず、出講者の頭を悩ませたようです。

今回の大会開催の目的に「実際に聴聞した高校生の声を聞く」という事があり、先生方の協力を頂き一年生から三年生まで約百名のアンケートを回収頂きました。アンケートは、法話の内容が「よく分かった」から「分からなかった」の四択と「具体的なその理由」、そして「今後、聞いてみたい法話」の三問でしたが、

こちらが思いもしない反応があったことに、スタッフ一同、大きな刺激を受けた事です。

例えば、「分かりにくかった」理由には「寝ていた」「長い」「心に響かない」との意見がある一方、「よく分かった」にも「主観的に話しを進めるのではなく客観性も見受けられたので聞いていて納得できた」「どんな時にも側に阿弥陀様がいると聞いて少し心が温かい気持ちになりました」「本当に辛かった私にとつては救いの言葉のように感じた」等々；、ドストレートな意見の数々に目から鱗が落ちたように思われました。また、「今後、聞いてみたい法話は？」の問いかけには、「人はどうして争うのか。人はなぜ他人と比べたがるのか」「誰も寝ないような内容の濃いもの」「他の宗教について」等の声が寄せられ、こちらも大変参考になりました。中でも、「人間関係について」の悩みの解決を求める声が多かったのが印象的でした。

一人の女子高生の回答が心に刺さりました。「自分が辛くて周りに相談しても解決しなかった場合どうすればいいですか？逃げたいと思ったり生きることに苦しいと感じたりして自分のことが嫌になったりした場合、どういう対処をすればいいのかを知りたいと思っています」との声には、私も一人の僧侶としてとても考えさせられました。高岡教区布教団では、「人々の苦悩に応える法話のあり方を点検する」という活動方針を掲げていますが、布教使だけではない全ての僧侶に考えてもらいたい課題だと思えます。

【高岡教区教区主幹 浜野信宏】

◇これからの日程（11/20～12/18）◇

11月	教区・財団行事	教化団体・組行事
20		福光教堂報恩講（～21）
21		若女性部会 音楽法要習礼
22	長寿苑ビハーラ	
27	親鸞聖人を語る夕べ	
28	会館報恩講	
29		仏婦ボランティア（～30）
12月		
4	常任委員会単位会長会議	
6		仏壮理事会・忘年会
7		講社もち米進納（～8）
14	常例法座	
15	組長会（忘年会）	
18		総代会常任監事会

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかがでしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下さい。
一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋） 8,300円

・1組（10袋） 500円

お申込み先は・・・高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）
Tel.(050) 5587-7708(代表)
メール hourin18@gmail.com

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎11/25（土）：忍関 崇氏

（本願寺派布教使・北海道崇徳寺住職）

「人と人の触れ合い」

□11/26（日）：未 定

（富山教区）

◎12/2（土）：柳川 眞理子氏

（本願寺派布教使・東京都光善寺坊守）

「いのちに向き合う」

◎12/9（土）：柳川 眞理子氏

（本願寺派布教使・東京都光善寺坊守）

「耳を傾け、そっと寄り添う」

□12/10（日）：未 定

（高岡教区）

◎12/16（土）：柳川 眞理子氏

（本願寺派布教使・東京都光善寺坊守）

「いのちを繋ぐ」

◎12/23（土）：柳川 眞理子氏

（本願寺派布教使・東京都光善寺坊守）

「自死者追悼法要」への思い」

平成29年度

教区賦課金(後期分)納入について

5月当初にお知らせ致しました告知書の通り今年度の教区賦課金（後期分）の納入期限は12月25日（月）迄となっています。できるだけ早期の納入をお願い致します。

【西本願寺高岡会館12月の常例法座】

ご講師：小見山 恵佑氏

（若神組常称寺）

ご講題：『未 定』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞお誘いあわせてお参りください。